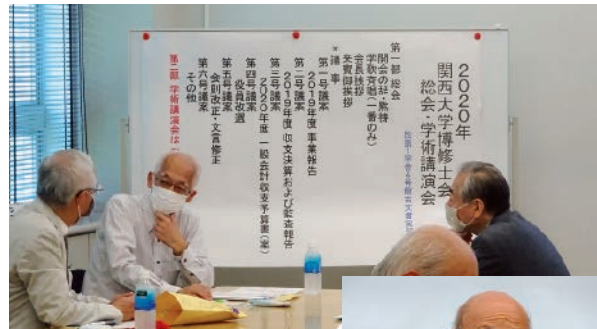


2020年度第68回博修士会 総会・学術講演会(報告)

2020年度の総会・学術講演会は、コロナ禍のもとでの開催であったが、感染予防とソーシャル・ディスタンスを徹底し、8月1日(土) 13時から関西大学千里山キャンパス、第1学舎4号館2階の「古文書実習室」で実施した。本会には芝井敬司学長、田中義昭校友会副会長、小谷寛子女子秀麗会会長、三木允子女子秀麗会顧問が来賓として出席された。

総会では、物故者に黙とうを捧げ、今年度は飛沫防止の観点から、学歌を参加者一同で聞くことにした。その後、芝井学長を始めとする来賓の皆様からのご挨拶を頂戴し、総会の議事に移った。会則に沿って、北嶋会長による議長進行のもとで、2019年度事業報告および2019年度収支決算報告を承認し、続けて2020年度一般会計予算、会則の変更(文言等を実態に合わせる)について決議した。今年度は役員改選の年であり、北嶋会長の再選を全会一致で承認した。また、他の役員については今後選任していくことでも了承した。

14時からは、本会の理事でもある辰巳浅嗣阪南大学名誉教授(元学長)・日本EU学会名誉会員(元理事長)による学術講演「Brexit なぜ、なんのために?—イギリスおよびEUへの影響」を行った。辰巳先生は、「イギリスはなぜ、なんのためにEUを離脱しようとしたのか、それがイギリスやEUにどんな影響を及ぼすのか、今後の日本とイギリスの関係はどうなるのか」といった諸点について、豊富な学問、経験をもとに、わかりやすく講演された。講演では、まず離脱にかかわった3人の首相の対応から説明された。そこでは、旧EC



第68回博修士会総会



辰巳先生

およびEUの中での独特なイギリスの立場やEUからの脱退条項などについて取り上げられ、国家主権や産業政策、「緊密な同盟」関係、移民政策など、ヨーロッパの主権国家の抱える問題を次々と解説された。イギリスのEUからの離脱の影響についても、イギリスにとってのメリットとデメリットを、予算分担金や安全保障、産業、対外政策、市場の面から平易に説明された。最後に、Brexit後における日本とイギリスの関係に関して触れられ、近年の気候変動問題や自国第一主義、自由貿易体制の維持などにも言及された。その後、質疑も活発に行われ大変有意義な学術講演会であった。

今年度は感染対策として、恒例の懇親会は開催しなかった。早く新型コロナウイルス感染症が終息し、再び一堂に会する懇親会で親睦を深めたいものである。(博修士会 広報部)

647名の新博修士の誕生 813名の新入生を迎える

会報表紙の北嶋会長の挨拶にありましたように、2021年も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3月22日開催の学位記授与式及び4月2日の大学院入学式の全体での式典を中止し、学生代表者のみ出席するオンライン中継をせざるを得ませんでした。647名の新博修士と813名の新入生の方々の努力の結果である式典を催すことができなかったことは、博修士会としても残念でなりません。

前田学長は、それぞれの式典で、「学問上でも人生でも、進むべき自分の道を見つけることが重要である。人生を謳歌するためにも、何かに挑戦し、失敗も貴重な経験となる」と

人生の門出を迎えた修了生と新入生に対して、祝意とともに伝えました。(博修士会 広報部)

事務局便り

博修士会への連絡をスマホやパソコンから手軽に行えるように、2次元バーコード(QR-Code)を作成し、学位記授与式と入学式に会報とともに配付いたしました。ご活用ください。

なお、連絡用2次元バーコードは修了生用と院生用の2種類あります。



(修了生用) <http://u0u1.net/Xeky>



(院生用) <http://urx.red/wskf>

お知らせ!

関西大学博修士会

検索



ホームページも見てください!

www2.kandai-koyukai.com/al/kandai-md/

博修士会会報 2021年号

2021年7月1日 発行

発行人 北嶋 弘一 編集人 篠塚 義弘

発行所 関西大学博修士会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
関西大学校友会事務局気付